

学校の様子

皆様初めまして。本年度（令和3年）4月から伊勢工業高校の校長に就任いたしました奥山敦弘（おくやま あつひろ）と申します。よろしくお願いいたします。

伊勢工業高校は、「地元企業の人材育成を軸に、一人ひとりが望む進路の完全保障を実現する工業高校」を目指しており、ものづくりを通して地域地元へ貢献できる人材育成に向けて「ひとづくり」と「ものづくり」を合言葉に全教職員一丸となって教育活動に取り組んでいます。

今まで皆さんは、伊勢工業高校生の郊外での活躍だけでなく、校内の様子などはあまり知らなかったのではないのでしょうか。そもそも工業高校って実はとても楽しく、凄い事を学んでいるんです！伊勢工業の生徒は勉強に実習に部活に全力で、楽しみながら集中して取り組んでいるんです！もっと伊勢工業高校を知ってほしい！と思っています。

そこで私は、この「学校の様子」を通じてどんどん皆さんに紹介していこうと考えました。

第一回（令和3年5月28日）「北村組と第三十三銀行が伊勢工業にディスプレイ寄贈」

さて、記念すべき第一回目は「北村組と第三十三銀行が伊勢工業にディスプレイ寄贈」を紹介します。

先日（5月21日）、松阪市の総合建設会社「北村組」と三十三銀行からインフォメーションディスプレイを寄贈していただき、その寄贈式が校長室で行われ、新聞やテレビで紹介されました。今回のディスプレイの寄贈は、第三十三銀行のSDGs私募債を活用し、松阪の総合建設会社「北村組」様のご厚意で実現したものです。伊勢工業高校は、いただいたインフォメーションディスプレイをICT教育はもちろん、校内の情報ツールや来校者に工業生の日頃活躍する姿を映し出し見ていただくような形で活用させていただきます。この日は同社の北村浩文社長、同行の大畑隆常務様らが出席されました。いただいたデジタルディスプレイはとても大きく素晴らしいものです。本校の職員が寄贈式に合わせて三者の名前を画面に投影し、式典に参加した皆様に喜んでいただきました。今回のように、その場にいる人達や利用者に喜びや感動を与えるものづくり、それこそ本校が掲げる「ものづくり」の原点です。今回のような教職員が育てる伊勢工業高校生の姿を今後も紹介しますのでご期待ください。



寄贈式の記念撮影。
右から「第三十三銀行」大畑隆常務様、
「北村組」北村浩文社長、そして私。



本校教諭が用意した三者の名前が入ったインフォメーションディスプレイ。参加された皆さんに喜んでいただきました。